

■過去の展示歴－2009年

04/20～05/13 「日本の書物 かたち・とじかた」

05/20～06/25 「王朝歌物語の世界」

07/03～07/31 「宇宙から見た地球の自然と災害」

10/06～10/17 「写された満洲～デジタルアーカイブから甦るハルビン都市空間～」

10/30～11/27 「おどり衣裳のコスモロジー ～日藝コレクション～ 展」

2009年4/20～5/13 「日本の書物 かたち・とじかた」

展示概要

「日本の書物 かたち・とじかた」

会期:2009年4月20日(月)～5月13日(水)

※休館日:日曜・祝日及び4月30日～5月2日

開館時間:平日10時～17時 土曜10時～13時

観覧料:無料

〔展示会概要〕

古来より、我が国の書物は、さまざまな姿で変容しつつ、今に受け継がれてきました。

今回の展示では、文理学部所蔵品の中から、伝存する写本及び版本等に焦点をあて、書物のさまざまな「かたち」、「とじかた」などの変容を身近に感じ、系統的に理解していただくことを旨としています。時代を超えた書物の形態や装いが発信する諸情報を自身の眼を通して受信していただくよう企画しました。

〔主な展示品〕

- ・『葛城』(観世謡本) ※古活字版
- ・『毎月抄』(藤原定家著)室町時代末頃写
- ・『清少納言』 ※寛永古活字版
- ・『晴月集』(飛鳥井雅縁著)江戸時代写
- ・『頓阿法師名所集』室町時代写
- ・『神語考』の版木 など

〔主催〕日本大学文理学部・日本大学文理学部資料館

〔協力〕日本大学文理学部図書館

[▲ページトップへ](#)

2009年5/20～6/25「王朝歌物語の世界」

展示概要

『王朝歌物語の世界』

会期 5月20日(水)～6月25日(木)

開館時間 平日10時～17時 土曜10時～13時

休館日 日曜・祝日

入場無料

主催: 日本大学文理学部・日本大学文理学部資料館

協力: 有吉保(日本大学名誉教授)・日本大学国文学会・日本大学総合学術情報センター

展示会概要

文理学部所蔵資料に、有吉保日本大学名誉教授、日本大学総合学術情報センターの協力による貴重資料を加えて、『伊勢物語』『平中物語』『大和物語』などの王朝歌物語関係作品を展示公開し、優雅な古典世界の魅力や、写本・版本を中心にした日本の書物文化について紹介します。

主な展示資料(○は有吉保氏個人蔵、◇は本学総合学術情報センター所蔵、無印は当館所蔵)

○『伊勢物語絵巻』江戸中期写 『歌仙絵抄』文化7年刊 藤原正臣著/喜多武清画

○『伊勢物語』寛文頃写/奈良絵本 『絵入伊勢物語』宝暦6年刊

『伊勢物語抄』天正10年奥書本 ○『伊勢物語』永正4年/宗椿筆

『大和物語』慶長元和中刊/古活字本 ○『伊勢物語』室町時代写/伝飛鳥井雅親

◇『伊勢物語』慶長15年刊/嵯峨本 ◇『伊勢物語』鎌倉期写/伝冷泉為相筆

◇『大和物語』延徳2年写 ◇『大和物語』江戸初期写/里村玄陳筆

◇『大和物語抄』寛永10年写/葉雪筆 ◇『大和物語』江戸初期写/伝日野中納言輝光筆

講演会日時 2009年6月10日(水)午後13時～14時半(終了予定) 会場 図書館3階オーバルホール 講師

有吉 保 氏(日本大学名誉教授) 演題 「伊勢物語とその周辺」 ※申し込みおよび参加費不要

※一般公開(学部外の方々もお気軽にお越しください)

▲[ページトップへ](#)

2009年7/3～7/31 「宇宙から見た地球の自然と災害」

開館時間：平日10時～17時、土曜10時～13時

休館日：日曜休館 ※ただし7月18日(土)～7月20日(月・祝)は平日どおり開館します。

主催：日本大学文理学部・日本大学文理学部資料館・地球システム科学科

後援：(財)リモート・センシング技術センター

協力：宇宙航空研究開発機構

<展示概要>

最新の人工衛星から撮影された衛星画像を中心にして地球の大自然の姿と、近年顕著な環境変化や増加する自然災害の脅威をダイナミックに紹介します。

展示では、文理学部地球システム科学科で調査研究を行ってきた成果に、宇宙航空研究開発機構の協力や、(財)リモート・センシング技術センターの後援による画像、さらには米国NASAの画像も加えて、写真パネルや動画などにより、人工衛星からの地球観測、その画像利用例、自然、環境変化、自然災害の脅威と今後の展望について紹介します。展示を通して、地球の自然の大切さを視覚的に感じ取ってもらいたいと思います。

[主な展示内容]

◇人工衛星による宇宙からの地球観測の仕組み(パネル写真と動画)

[衛星打上から観測まで、リモートセンシングとは、衛星画像の利用例]

◇宇宙から見た地球の素顔・自然の美しさと驚異

[地球の雲・大地・海、宇宙からの大自然・世界自然遺産・世界歴史遺産・国立公園など]

◇人工衛星の捉えた地球環境の変化

[北極南極の氷床・山岳氷河・オゾン層・海面水温の変化、砂漠化、森林破壊など]

◇地球への人のかかわり

シンポジウムのお知らせ

「衛星で探る地球環境変動と自然災害」

日時：7月11日(土)10時30分～16時30分(12時35分～13時45分は休憩)

会場：日本大学文理学部 百周年記念館国際会議場

主催：日本大学文理学部 地球システム科学科

詳しくは、[地球システム科学科のHP](#)へ

2009年10/6～10/17「写された満洲～デジタルアーカイブから甦るハルビン都市空間～」

展示概要

展示会名

写された満洲～デジタルアーカイブから甦るハルビン都市空間～

会期 2009年10月6日(火)～10月17日(土)

開館時間 10時～17時

休館日 11日(日)・12日(月・祝) ※8日(木)臨時休館

展示会概要

戦前期の日本で「満洲」と呼びならわされてきた地域では、様々な民族、国家、文化が時に激しく切り結びながら、相互に関連しつつその歴史を展開してきました。19世紀末、松花江河畔にロシアが建設した哈爾濱(はるびん)も、そのような「満洲」の特徴を色濃く反映した都市の一つです。

今回の展示では、哈爾濱都市を写した絵葉書(黒崎コレクション)を中心に展示し、ポスター、写真、書籍等で補い、哈爾濱都市空間の変容をご紹介します。

また、絵葉書の情報と地図情報をリンクさせたデジタルアーカイブ検索システムをご利用いただき、より立体的な哈爾濱(はるびん)都市の街並みをご体感下さい。

なお、現在のところ所蔵が確認できるのは文理学部のみという『蒙古横断』(映画)をDVD化したものを常時上映いたします。あわせてお楽しみ下さい。

関連企画

①『蒙古横断』上映

1920年代の東部内モンゴルに関する貴重な記録映画である『蒙古横断』を展示室内スクリーンにて、会期中常時、上映します。

②講演会 新たな「満蒙」像への挑戦 ―日本大学文理学部所蔵画像資料の可能性―

10月17日(土) 15時～17時(終了予定)

文理学部3号館2階3203教室

講師 千葉正史(明治学院大学ほか非常勤講師)「近代満洲の歴史とハルビン都市像の変遷」

広川佐保(新潟大学人文学部准教授)「『蒙古横断』の〈現在〉」

※参加費無料・予約不要 ※一般の方々も気軽にお越しください。

2009年10/30～11/27「おどり衣裳のコスモロジー ～日藝コレクション～ 展」

日本大学文理学部資料館展示会 藝術学部 ORCNANA プロジェクト交流展
おどり衣裳のコスモロジー ～日藝コレクション～ 展
伝六代目尾上菊五郎の衣裳を中心に
会期 10月30日(金)～11月27日(金)

平日 10時～17時(土曜 13時まで)

休館日 日曜・祝日(ただし、10月31日(土)と11月1日(日)は大学祭のため10時から17時まで特別開館中)

主催：日本大学文理学部、日本大学文理学部資料館

共催：日本大学藝術学部芸術研究所、
文部科学省オープン・リサーチ・センター整備事業 NANA プロジェクト、
日本大学藝術学部芸術資料館

展示概要

本展示会は、日本大学文理学部と藝術学部との第2回目の交流展示となります。

今回は、藝術学部所蔵の歌舞伎舞踊衣裳から、六代目尾上菊五郎が着用したと伝えられ衣裳を展示しております。さらに実寸大の写真パネル(最高画質3億2000万画素)と合わせて、歌舞伎衣裳をお楽しみください。

日本のおどり、ことに歌舞伎舞踊は衣裳にその生命を依存し、その運命をともにしてきたのだと言われます(郡司正勝『おどりの美学』、1959)。そしてまた、衣裳は「魂を導入する装置」として存在するとも考えられてきました(郡司正勝「舞踊における「着る」の意義」『舞踊学 19』、1996)。衣裳を着ることによって、おどりの表情はとて豊かとなり、庶民の喜怒哀楽をも表現することができます。また一方で、衣裳は生活のための衣服だけでなく、おどりのための特殊な性格を持つものも数多くあります。

本展では、本学芸術学部所蔵歌舞伎舞踊衣裳(日藝コレクション)の中から、歌舞伎舞踊の最高峰と言われる「娘道成寺」と「鏡獅子」、そして松羽目物の名作「茨木」の衣裳を選び、ことに不世出の名優とされる六代目尾上菊五郎着用と伝えられる衣裳を特別に出品いたします。同時に衣裳写真の展示も行い、学生や一般の方々に、多彩な衣裳で創造される“おどりの宇宙空間”へいらしていただき、舞踊衣裳の成立・構造・変化・用途について問はずねる場にしたいと企画いたしました。

11月7日(土) 特別講演会のお知らせ<一般公開の講演会>

演題 「六代目尾上菊五郎と舞踊衣裳」

講師 丸茂 美恵子教授

(日本大学藝術学部演劇学科、ORCNANA 研究代表者)

日時 11月7日(土) 14時40分～16時10分頃(終了予定)

会場 日本大学文理学部3号館 3307 教室

※参加自由(申込みや参加費等は一切不要です)。

※学外の方々もお気軽にご参加ください。

※ORCNANA のご紹介

日本大学藝術学部が選定された、文部科学省オープン・リサーチ・センター整備事業の研究プロジェクト「日本舞踊の教育システムの文理融合型基盤研究並びにアジアの伝統舞踊との比較研究」です。本プロジェクトの略称は、日本大学藝術学部(NU Art)および日本舞踊とアジアの伝統舞踊(Nichibu & Asian dance)の頭文字をとって“NANA”とします。HP へ→<http://www.orc-nana.jp/>